

# 北海道医療新聞

4月1日  
2011年・1873号  
毎週金曜日発行  
年間購読料19,000円  
(前納/税・送料込)

発行所  
株式会社北海道医療新聞  
〒060-0042  
札幌市中央区大通西6丁目  
(北海道医師会館)  
TEL 011(221)7777  
www.medim.co

## 同門会だより

### 旭医大耳鼻咽喉科

#### 学術向上、教室 発展に尽くす

昭和五十一年開設の教室は海野徳二初代教授の後を受けて、平成十年から原渕保明教授が指揮を執る。会員が百人を超え、「親睦と学術技術の向上、そして教室の発展に尽くす」をモットーとする同門会の会長に一月就任したばかり。

七―八月に教室と

合同で学術講演会を開



いており、学内外から講師を招く。十二月の総会では、留学から帰国した教室員や学位論文をまとめた若手医師

の報告も企画し、忘年会で世代を超えて交流する。「大雪」と命名した会報誌は毎年発行を続けている。

#### 今年開催の学 会もサポート

原渕教授の下、教室員は留学や博士号取得で積極的にスキルアップを図っており、「自由闊達でアカデミックな気風」が特色。新医師臨床研修制度による大

学での医師不足が問題になっている中、教室の門を叩く入局者は毎年コンスタントにおり、活気に満ち溢れている。近年の教室主催の学会・研究会は、日本口腔・咽頭科学会(十七年)、日本耳鼻咽喉科感染症研究会(十九年)、日本医用エアロゾル研究会(同)、耳鼻咽喉科臨床学会(二十一年)、国際扁桃・粘膜免疫シンポジウム(二十二年)と多岐にわたる。今月二十

### 野中聡会長

昭和31年12月19日生まれ。登別市出身。旭医大56年卒。のなか気管食道耳鼻咽喉科(旭川市)理事。

一、二十二日には日本喉頭科学会も開催予定で「同門会を挙げてサポート」する。

視覚以外の感覚器をつかさどる耳鼻咽喉科は、腫瘍や感染症を含め「領域が広がって深い。だからやりがいがある」と医学生や研修医にアピールしている。